

ども、現在の状況ではなかなか見通しつかない。はっきり言って、全く見通しがないと言ってもよいのではないかと思うわけです。

そういうことから言って、私は、昨年再開発事業の周辺整備ということ、やはりその再開発をやらなければ、やろうという盛り上がり、ムードづくりが必要ではないかというようなことで、飛行機博物館とか水族館とか、駐車場などと申し上げたわけですが、こういったことがやはりいろいろなことでそういったことを指摘されているという市長の答弁でした。

そういうことで、先ほど市長も答弁の中で、駐車場を防衛補助事業の対象ということ、防衛補助事業でやろうということ、将来計画に載せられているわけですから、やはり載せた以上は、防衛に交渉に行くにしても、その内容、規模というものを検討してもいいのではないかと。また、市長、二期目に向かって公明党との政策協定でも、駐車場の件については実現に努力するというそういうことでございました。やはり努力ということは結果が物語るわけで、いま現在、その将来計画

に載せている駐車場の件については、台数も場所も、またいつごろやっているんだというそういう気迫というものが全然見受けられないわけです。そういう面でも、私みたいな頭の悪いのは、福祉を充実してもうには、やはり何とか市が発展し、財源が入ってこなければ福祉を充実しろといったってこれは無理な話で、そういう面から一生懸命な頭をこぼっているわけですが、そういう面では、何といっても理事者、当局がその気になっていただくということが一番力強いわけで、何といっても職員初め、正直言って高い競争率をパスした人材なわけです。そういう面から英知を結集して、そして豊かな、快適な、活力ある福生市を目指すにはどうしたらいいんだろうと。また、市長を中心に、本当にもっともっと少し積極的に突っ走ってもらいたいというこういう気持ち、最近強いわけです。また、市長にもお願いとして、功績あるいは職場で懸命にがんばっている職員等には、やはりそれなりの扱ってきとか、あるいは掌握をして、一人ひとりが気持ちよく十二分な力を出せるようなムードづくりが大事ではないか。大変言いにくいことかもしれませんが、何か現在

活力というものが、むしろ灰色近い感じさえ受けるわけです。

そういうことで、この分では、再開発が実際に絵に書いたもちになつてしまふのではないかと。すでに三千万から投資しているわけですから、皆さん心配しているわけです。

そういうことで、西口再開発事業前にそういったいろいろなムードづくり、そのためにも駐車場の設置、防衛補助絡みの駐車場の将来計画について、もう一度御答弁を願いたいと思います。

それから、セタ、ホテル祭りの充実ですけれども、先ほど原議員もいろいろ福祉の充実について具体策ということをお聞きしたように、充実についてお聞きしたんですけれども、何ら具体策が出てこないわけです。セタの花火の防衛補助―見舞金ぐらいは検討していきたいというんですが、充実というか、何かセタについて具体策、ホテル祭りについて具体策があるのではないかと期待して尋ねたわけです。たとえば、この前セタ祭りのときに、実行委員会のために、どうもムードがだんだん低調になってくる感じなので、一変させたらどうでしょうかと。

あるいは東京都が三十万出しているのだから、同じ東京都民ということを出しているのかそればかりではないけれども、アメリカの兵隊さんも結構来るんだから、防衛から見舞金を五百万ぐらいもらったらどうでしょうと、こういった死言もしました。また、福生という「福が生まれる」と、一生懸命前市長は宣伝をやっておられたようですが、セタへ来るんですから、記念切符を売ったらどうですかということも言いましたが、何か充実させるような具体策を、市長、あったら遠慮しないでもう一遍聞かせていただきたいと思います。

また、ホテル祭りだけれども、これは一生懸命やっているんですね。ホテル祭りをやっておられる方がいろいろ寄附をお願いしたり、がんばってやっているんですけれども、よく続いているとはたで見ても思うわけですね。そういつてはあれですけれども、セタ祭りは、極端に言ったら一区域の人たちが大いに中心というか、恩恵というか、そういう形のところがあるわけですね。しかも、補助金はかなり出しているわけですね。そういう面からいけば、ホテル祭りを昔のちらほらと飛ぶ情緒豊かな、ホテルをずっと後

世に残して、こうと一生懸命やっておられるわけです。そういうホタル祭りに、援助の手を指し伸べたらどうか。補助金を出したらどうか。また、一生懸命カワニナを育ててやっているように、すけれども、ある方面からの話だと、何か市長も、学校へ行ったときか何か、私もよく、確実なことではないかと思うんですけれども、「みんな一生懸命カワニナを育てているんだから、生徒にカワニナも研究のためにも育てさせたかどうか」というそういう力強いお話もされたとかという話も伺っているんですが、そういうこともできたらひとつ具体策として充実させていくというようなことで、ぜひ話を聞かせていただきたいと思うんです。以上です。

○議長（田村市郎君） 午後一時まで休憩いたします。

午後零時二分 休憩

午後一時二分 開議

○議長（田村市郎君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を行います。

○市長（田村匡雄君） 自席からお答えいたします。

西口の件でございまして、特に駐車場の関係でございすけれども、確かに、現在の商店経営というものにつきましては、御説のとおり、駐車場があるかないかでもって非常に売り上げとかそういうことが違ってくるわけで、私も、前々から非常にこの件については心配しておるわけでございす。

駅の近くにある工場がございまして、その件につきましましては、昨年いろいろと接触をいたしまして、ある詰めまでやったんでございすけれども、何としても不成功に終わってしまつて非常に残念だというふうに思っているわけでございすけれども、いろいろな意味でその方にお力添えをいただきたいということです。いふんと時間をかけたわけではございすけれども、いま申し上げたとおりになったわけではございす。それから、どうしてもそういう件につきまして、立体的なものができなければ、やはり地下へ何とかひとつ考えていかなければならないと

いうようなことで、いろいろ部課長とも相談いたしておるわけでございます。すけれども、駅前広場等のことも考えたり、その近くの公有地でもというふうにもいろいろ考えておるわけでございますけれども、何せ、いまのところ土地の確保ということが非常にむずかしい問題でございます。して、こういった件については、地下駐車場につきましては基地対策の皆さんのお力添えをいただきながら、防衛等へひとつかけ合っている。たいというふうに考えているし、また、そういった問題も防衛施設庁へいろいろと相談をしている最中でございますので、今後ともよろしくお願いしたいと思います。

それから、七夕祭り、それからホタル祭りの件でございますけれども、七夕祭りの件の中で、御指摘のように具体的な例といたしまして、記念切符等の発行はどうかというようなことがございましたけれども、国鉄などとの関係機関と今後話を詰めてまいりまして、実現方をひとつお願いしたいというふうに思うわけでございますけれども、また実行委員会等でもこの話題を出していただきたいと思っておるわけ

でございます。

それから、ホタル祭りにつきましては、あくまでも町会が中心でございます。私どもの方といたしましては、町会に対するいろいろな関係と、いうことがなかなかむずかしい問題でございますので、ホタルの研究会の方へ市といたしましては、若干でありますけれども、補助金等をお願いしているというところでございます。

また、そのお祭りの件につきましても、若干ありますが、いろいろな意味でお手伝いをさせているということが実情でございますので、今後ともまたよく内部で検討したいと思っておりますので、よろしくお願

いしたいと思います。

その他の件につきましては部長から御説明いたしますので、よろしくお願

いいたします。

○教育次長（八木房雄君）

自席から御答弁させていただきま

宮沢議員さんの御質問の中で、教員が生徒から十分信頼され

ていないというふうなアンケートの問題でも、どうしたらいいのかというふうな問題

もございまして、これには非常にむずかしい問題もございしますが、やはり信頼されるというのが、生徒との対話も必要だし、家庭との問題が一番大きいのではないかと思うんです。

それで、実例をというふうなお話もございましたが、ある中学校では、親との対話が非常にできなくて、教師が何回も行っようやと会えるようになったと。それで、毎晩のように先生が行きまして、親との対話を始めまして、それから子供との対話になってきたと。ずっと長い月日をかけてやってきた子供たちが、非常にようになってきたというふうな実例も来ております。

それから、おかげさまで暴力関係についても減少してきたというふうなことで、教師に対する暴力はございせん。

そういうふうな段階で、だんだん非常によくなってきているというふうなこと、特効薬というのにはございせんが、長い時間をかけて、やはり教師の熱意だろうと思います。それで、初めて子供たちが教師を信頼するというふうなことができて、非行もなくなってくるのではないか

と。新聞紙上でもおわかりのとおり、非常に家庭との問題がございまして、家庭との対話というものが非常にむずかしいということとございまして、なお一生懸命でやらせていきたいと思っております。

それから、確かに「ほめる教育」というふうなことでございしますが、教師個人としては、それは必要であらうと思っております。教育委員会におきましてはございせんが、個々におきまして教師がやはりほめてあげるということには必要であらうというふうに考えております。

それから、私が先ほど落としてしまして大変申しわけございませんでした。青少年の悩みの相談室や相談電話の夜間設置の問題でございしますが、これにつきましても、関係部とも十分調整いたしまして、研究をさせていただきます。よろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○建設部長（内田和雄君） 西口の再開発の関係でございしますが、御指摘のとおり、理事者がその気になって、もう少し積極的に突っ走っていくべきではないかというような御質問でございしますが、現在いろいろな形で関係者と接触を持っておりますが、なかなか進んでいかな

いというのが現状でございます。しかし、このままではいけませんので、私どももこれからいろいろな形で関係者と接触をしまして、所存でございます。

それと、市で公共的なものを優先して計画をし、また実施に移していくような形をとりませんと関係者も非常に不安であろうかとそういうふうに思っています。そのために先般も基地対策の方をお願いし、防衛施設庁にも橋上駅の整備、駐車場の問題、それら等をいろいろお願いしていたいためでございますが、橋上駅を実施するということになりますと、現在の駅舎等も必要なくなりますので、それらの土地の問題の払い下げの問題とか、そういう問題も出てまいりまして、駅広も多く取れるというふうなことになるわけで、市としてやらなければならぬというふうな問題をこれから積極的に計画をして、なかなかこれは市だけの問題ではできませんので、いろいろ国の機関にも働きかけて実施していくようにしてまいります。

また、これらの点、いろいろと議員先生方の御協力を得なければ

できないことと思いますが、一緒に陳情等もお願ひしたりして御協力をいただきなから進めてまいりたいと思っております。

また、駐車場の問題等につきましても、他市において防衛施設庁に退避ごうと申しまいるか、そういう形をお願いしている市もあるようでございますが、やはり福生市としてもそういうふうな関係もよく研究して、これから防衛施設庁等にもいろいろ働きかけていく必要があるかどうかと思っております。また、規模、場所等につきましても、いずれにしても人の集まる駅の近く、これはもう当然でございますして、西口でいったらいまの再開発を計画している中等に計画を考えていかなければいけないと思います。また、台数においても、先ほど御指摘のとおり、もしこれが退避ごうというようなことになりましたら、小さい規模では意味がございませぬので、また、駐車をするというような場合も、先ほど千台というような御指摘もございましたが、やはり大きいものを計画していかなければいけないと思っております。

そういう点で、これからいろいろ国の動きその他を把握して、また、

議員先生にもその点につきましてお願いを申し上げ、何とか国の補助金で実施できますように私どもも研究してまいりますので、よろしく御協力をお願いします。

○十九番（宮沢良一君） 市長からセタ、それからホテル祭りについて答弁されたわけですが、これ以上私も市長に追及はしません。しかしながら、実情はセタにして、またホテル祭りにして、大変なんだと。それを盛り上げていくには、やはりくどいようですけれども、人が集まれるように、来やすいように駐車場を設置するということが一番大事ではないかと思うんです。部長からいろいろと決意みたいな答弁がございましたが、やるんだと、こういうものでやっていきたいんだと、こう発表することによっておのずから決意が定まってくる。私などはそういう形で常にやってきたわけですから、言い切ってしまうとやらないわけにはいから、なかなか言い切るといことは、大変勇気がいるわけなんです。そういう面で、この駐車場の件については加藤議員も質問されるようでございますので、後はお任せしたいと思えます。

駐車場にして、飛行博物館にして、将来計画に載せた以上は、常に目の色を変えてチャンスをつねらうべきだと思ふんですけれども、たとえば、この間あの映画で使った零戦が払い下げというか、各自自治体が目の色を変えて、金を出してもいいことでラブコールしたわけですね。福生ではやられたのかどうかお聞きしたいんですが、結果においては御承知のとおり、呉に厚木飛行場で引き渡し式を終えて、いろいろ佐藤元総理の娘婿の力だとも言われていますが、無償で呉市に行ってしまったと。そういったものに常に挑戦していかねばと思うんですけれども、その点一つお聞きしたい。

また、ここで南極船について、一生懸命みなねらっていますけれども、そういう観光資源誘致については、この市町村でも一前回も少しも言したんですけれども、目の色を変えてねらっているわけですね。そういうことで、たとえばここで、市民会館だっと思うんです。もう、一つの駐車場の設備がなければ、だんだん使用客が減ってきてしまう。そういうことで、常に、市長はかりでなくて全職員が、どうしたら

住みよい福生市ができるんだらうと積極的に取り組んでいくべきだと思ふわけですね。そういうことで、それが一つですね。

それから、多摩川の浄化と、水を一トンぐらい流していただきたいということ、一生懸命市長は取り組んでいるわけですが、この間の新聞などにも出ていたが、自民党の内部ですけれども、こんなことを言っていました。「少数意見は正論でも通らない。青信号を一人で渡れば殺される」というんです。そういう大ぜい都市下水路組合とか、漁業組合とかあらゆる団体を巻き込んで聞かせるのかどうか、この辺ひとつ。余りあれしても何ですから、その二つをひとつに。

○市長（田村匡雄君） 自席からお答えいたしますが、多摩川の浄化につきましては、都市下水路を初めといたしまして、また漁業組合等々でいつもいろいろと御意見を聞いているわけですが、来月になりました都市下水路の正副管理者と、それから漁業組合の幹部との話し合いをいたしました。多摩川の浄化ということについて、根本的にひとつ考えてみようではないかということで、話しかこ

で出ているわけでございます。いまだ少しこの件についても時間をお願いしたいというふうに思っておりますわけでございます。

御提案の水族館並びに博物館の件でございますけれども、この件につきましては、飛行機の博物館こういったことは、非常に場所がいったり、いろんな関係がございますので、西多摩広域圏の中で一つの話題として取り上げてございますので、その中でどのようにしていくかということが今後議題になるのではないかとこのように思ふわけでございます。

それから、水族館の件につきましては、いずれにしても多摩川の浄化と一応関連がございますので、その時点でまた考えてみたいというふうに思ふわけでございます。

○十九番（宮沢良一君） これは最後で、要望になってしまいますね。

私は、この零戦に対してラブコールしたかどうかということ聞きたくはなすけれども、常にチャンスをとらえて、場所とかそういうことはもう、呉市の場合も、場所を用意して引き受けたのではないよ

うです。とにかく、観光資源だったら何でも取ろうと、そういう前向きな姿勢が大事だと思ふんです。

それで、広域圏という、この原則もそういうふうなことを答弁されたように思ふんですけれども、経費は大ぜいで負担すれば安いかもしれないけれども、利益が出てくるようになったら、これはみんな自分で一機一機獲得していった方が私は大きな財源の確保になるのではないかと思ふんですけれども、そういう点はひとつ、いろいろ研究されていただきたいと思います。

最後に、市長ばかりではなくて、先ほどからくどいようですが、各課長、部長は一般世間からいったら社長なんだと、こういう自覚に立って、先ほどもお話ししたんですが、市民会館でもだんだん利用者がなくなってきたと。それは新聞にも出ていましたけれど、各市で市民会館があちこち建ててきていると、そういうことになる、利用しやすい駅の近く。駅の近くといっても、やはり駐車場がなければもうなかなか

人は行きません。そういうことで、何としても、駐車場を設置しなければいけないと。市長にひとつ駐車場でもつくってもらいたいと、こういうふうな積極姿勢でやっていただきたいと思いますし、そういうことで、普通ならもうそういう一つの常に先取り精神、そういう考えがなければ、民間ならとくに倒産です。仮に、最近倒産の中でリッカーマシン等ありますが、けれども、これなど技術革命のおくれとも言われていますが、いまパチンコでさえ二、三百台駐車場があるんです。畑の真ん中だってお客は来るわけです。この前、収益で青森場外車券売場、リング園の真ん中なんです。千二百台駐車場があるんです。大ぜいお客を呼ぶ、来てほしい、やはりそれだけの駐車場を用意しなければならぬというのが、現在、いま時代ではないでしょうか。

そういうことで、いまお客さんは、近くても駐車場がなければ遠い所の駐車場、設備のある所へ行くような状態ですから、何回も何回も今回駐車場ばかり言って、もう頭の中かーくどいなと思われるかもしれないかもしれませんが、何といっても私も市長の公約を少しでも実現に

近づけていたのだと、市長を応援した手前、そういう気持ちからひとつくどいのも勘弁していただきたいと思うんです。

そういうことで、時間もぼつぼつ来ましたので、駐車場の件では加藤さんにバトンタッチいたしました。どうか教育問題については、相談電話の件、ひとつよろしくお願いいたします。以上で終わります。

○議長(田村市郎君) 次に、七番 井上寅吉君。

(七番 井上寅吉君登壇)

○七番(井上寅吉君) 貴重なお時間を私の一般質問に使用させていたいただきまして、まことにありがとうございます。

会議規則第八十六条の規定に基づき、さきに通告申し上げてあります三項、五点につきましてお尋ねをいたしたいと思います。

まず最初に、町会、自治会に対する各種行政事務の委託について、第一点目の各種行政事務の委託料を支給する考案があるかどうかお尋ねをいたしたいと思います。

現在、協議会に加盟しております町会、自治会あわせてわが福生市に三十五あるわけでございますが、その町会の大小にかかわらず、年間二万円の分担金を集めまして、七十万円ということで協議会の一年間の経費が一切賄われているわけでございますが、町会ごとの会費につきましては、これまた千差万別でございまして、個々に同じ額を全部徴収するという町会もありますし、また、上に重く下に軽くといえますが、何段階かに分けまして集めているような町会もあるようでございます。

そこで、町会の数は三十五でございまして、世帯数が、町会に加盟されておる世帯数でございしますが、一万二千七百九十七世帯、平均にならしますと、一町会当たり三百六十六世帯となるわけでございますが、これを標準の町会といたしますと、標準を上回る町会の数が十四、また、下回る町会の数が二十一となるわけでございます。町会、自治会の大小で、世帯数についても千差万別でございします。加美平あたりの自治会になりますと千世帯を上回っておりますし、また、本町三町会あたりですと九十世帯、その間、どの町会にも二万円ずつの分担